

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

[平成18年度評価結果](#)

[平成17年度評価結果](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > 評価結果ダイジェスト

評価結果ダイジェスト

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評

▼サービス分析結果

▼利用者調査結果

▼事業者のコメント

平成19年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	竹の塚ひまわり園
評価機関名称	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会
評価者	修了者No.H0401033 修了者No.H0401034 修了者No.H0501068
評価実施期間	2007年11月1日～2008年2月7日

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- 地域障害者福祉の伝統と社会的責任
- 就労機会開拓への地道な取り組み
- 利用者の作業意欲と支える職員

📈さらなる改善が望まれる点

- 地域社会における自立生活支援の事業展望を示す
- 日常作業と生活支援のさらなる充実
- 自立を支援出来る人材の育成

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら ● 個別支援計画を作成する前に、利用者に第一希望から第三希望まで聞いて、できるだけ利... ● 五つの工房の中で、就労支援を目標としている「匠工房・雅工房・和工房」ではタイムカ... ● 保護者アンケートの結果から、利用者によっては会話が成り立たなく一方的になってしま...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら ● 5つの工房に分かれていて、3つの工房は就労支援を位置づけて作業を行っています。「... ● 「和工房」では、アルミ缶・古紙を回収し、処理作業を行っています。回収にあたり地域... ● 「華工房」では、園芸作業と受注作業を利用者10名と職員3名で行っています。梱包の...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら ● 食事は、業者に委託して提供していますが、栄養士と連携を取り献立に工夫をしています... ● 食堂は、透明ガラスを多く使い明るく清潔感があり、カーテンを開けて季節を感じられる... ● 各工房の仕事が一段落した時に昼食になるため時間のずれが生じ、グリーンホールと呼ば...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 詳細はこちら ● 当施設では、作業服に着替えるため、時間内に自分で出来るように支援し、ほとんどの利... ● 一日の流れが午前・午後と作業中心ですが、給食配膳やお茶の手伝いは利用者が当番制で...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら ● 年に一回、健康診断を行い、その結果を診察記録に記載しています。通院等の必要が生じ...	

- ・服薬管理は職員が内服薬を確認し、空の薬袋を回収して飲み忘れのないように配慮してい...
- ・連携病院は近くに二カ所あり、緊急の場合に対応できる体制を整えています。看護師が非...

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

B

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・年間行事は、餅つき大会・新年会に始まり4月にはお花見、5月は一泊旅行、同じ法人施...
- ・クラブ活動は、文化クラブは書華道・調理・陶芸・カラオケ・パソコン・リトミックがあ...
- ・朝の会と帰りの会で利用者の意見を聞く機会を設けています。しかし、その意見を施設運...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・家族と施設間の連絡等は、主に連絡帳を活用しています。また、機関誌を配布して施設の...
- ・保護者会がありますが、参加率が低下傾向です。共働きの親でも出席出来る曜日などの工...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・クラブ活動にカラオケボックスやボーリング場、区営の体育施設でプールと体育館を使用...
- ・就労に関係した施設見学、特にパン工房やリサイクル工房など、利用者が興味を持つ場を...

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちら](#)

※読み上げソフトをご利用のかたへ
パーセンテージの読みあげは「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「無回答」の順番で読み上げられます。

有効回答者数/利用者総数
39/80

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 仕事など日常の活動はやりがいがあるか	56.0%	38.0%	5.0%	無回答・非該当: 0.0%
2. 工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されているか	43.0%	35.0%	20.0%	無回答・非該当: 0.0%
3. 必要なとき職員からの相談・支援は十分か	56.0%	35.0%	7.0%	無回答・非該当: 0.0%
4. 施設の設備は安心して使えるか	69.0%	23.0%	7.0%	無回答・非該当: 0.0%
5. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	64.0%	30.0%	5.0%	無回答・非該当: 0.0%
6. 利用者の気持ちは尊重されているか	51.0%	38.0%	10.0%	無回答・非該当: 0.0%
7. 職員の対応は丁寧か	69.0%	20.0%	10.0%	無回答・非該当: 0.0%
8. 個別の目標や計画を作成する際に、利用者の状況や要望をきかれているか	74.0%	15.0%	10.0%	無回答・非該当: 0.0%
9. 【個別の目標や計画について説明を受けた方に】 個別の目標や計画に関しての説明はわかりやすかったか	69.0%	27.0%	いいえ: 2.0%	無回答・非該当: 0.0%
10. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	54.0%	31.0%	13.0%	無回答・非該当: 0.0%
11. 不満や要望を事業所や職員に言いやすいか	30.0%	48.0%	20.0%	無回答・非該当: 0.0%
12. 利用者の不満や要望はきちんと対応されているか	48.0%	38.0%	12.0%	無回答・非該当: 0.0%
13. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	51.0%	25.0%	23.0%	無回答・非該当: 0.0%

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナピトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

[平成18年度評価結果](#)

[平成17年度評価結果](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > 全体の評価講評



全体の評価講評



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評

▼コメント

平成19年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

[＜前の評価結果を見る＞](#)

[次の評価結果を見る＞＞](#)

事業所名称	竹の塚ひまわり園
評価機関名称	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会
評価者	修了者No.H0401033 修了者No.H0401034 修了者No.H0501068
評価実施期間	2007年11月1日～2008年2月7日

全体の評価講評



特に良いと思う点

・地域障害者福祉の伝統と社会的責任

竹の塚ひまわり園が所属する社会福祉法人あだちの里は、区内にあって知的障害者福祉に関わる福祉施設として伝統ある大きな法人です。同一敷地内には、入所施設、更生施設、居宅介護支援や短期入所の事業所があり、区内にも授産施設やグループホームなどを有し、大勢の利用者は何時でも何処でも、さまざまな福祉サービスが利用でき、「地域社会の一員として安心して暮らせるよう」、社会的責任を果たしてきました。当施設事業所は法人グループの中核拠点として、更に 未来に向けて、新たな事業に挑戦し、大きくその責務を果たすべく活動しています。

・就労機会開拓への地道な取り組み

新事業である就労移行支援事業と就労継続支援事業(A型)に約20名が移行しました。21年度には80名が就労継続事業(B型)と生活介護へ移行予定です。100名の大型の通所施設であり、これら利用者が住み馴染んだ地域で、就労による経済的自立を支援する為に、施設内に就労支援委員会や障害者雇用の業種・業態勉強会を設置しています。区内の多くの中小企業の求人情報を収集して勤務可能な企業マップを作成し、実習生を送り込みその適性評価もしています。工場作業や在宅仕事の可能性など、障害者就労の拡大に地道な取り組みをしています。

・利用者の作業意欲と支える職員

当施設のパン工房では、職員が「パン製造の講習会」に積極的に参加し、その技術を利用者に指導しています。朝の早い時間に職員が準備をし、通所してくる利用者と一緒にパンを焼いています。パンの種類が豊富で美味しくできあがっており、パン屋さんに匹敵する程の高品質です。そのほか、受注・外作業・自主生産・生活支援の各工房グループでも、利用者が中心に自転車の補修・洗車などを行い、職員が細部にわたり支援しています。パン工房の利用者は制服を着て活き活きと働いています。各工房では利用者と職員が声をかけ合い、活気にあふれています。

さらなる改善が望まれる点

・地域社会における自立生活支援の事業展望を示す

利用者は家族と暮らし、施設で日中活動ができて日々満足ということです。しかし、利用者の高齢化以上に、親の高齢化は急速に進んでおり、利用者の将来をどう考えていくかは、いずれ検討しなければなりません。当法人グループはその社会的使命に照らしても、法人として区内の利用者・家族や都民に対し、将来にわたりどのような関わりを持って社会福祉事業を展開していくのか、その展望を示し、各事業所もまた自らの個性と主体性を発揮して、何をすべきか、事業課題・計画を策定し、職員と利用者・家族に理解と協力を求める働きが切に望まれています。

・日常作業と生活支援のさらなる充実

当施設では、5つの工房を設定し、それぞれの作業を利用者のニーズに応じ、適性にも配慮して利用者が日々の日常作業を行っています。利用者調査では、作業には、やり甲斐を感じている利用者が多い反面、好きな仕事をさせて貰えない、という声もありました。また工賃に対する不満もあり、今後検討し改善する必要があると思われます。また保護者アンケートでは、園外活動や健康・体力維持にも心がけて頂きたい、という複数の声があります。生活支援への更なる充実も望まれます。

・自立を支援出来る人材の育成

利用者の自立を促進できるサービスを提供するために、就労支援・作業支援・生活支援それぞれのエキスパートの養成が必要です。いずれの支援員にも共通して、福祉サービス提供の理念や障害者の心情や特性を理解し、ケア経験と技術力を有し、利用者一人ひとりに適切な訓練・指導が出来る高い能力が望まれます。ジョブトレーナーの都内各種の訓練・指導機関等の協力を得て、これら専門性を高める事業所としての人材の育成が、今や喫緊の課題であると思われます。

[このページの一覧上へ](#)

コメント

当施設は80人の大型の通所授産施設です。利用者調査では利用者全員を対象に、また全家族にもアンケート(6項目)を同時に実施し、大がかりな利用者等の意見集約を事業者の要請にも応え、実施することができました。新体系移行の過渡期にあって、利用者本位のサービスの提供に当たり、事業者は利用者の声をどう反映させるのか、注目されます。

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 組織マネジメント分析結果

組織マネジメント分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼リーダーシップと意思決定 ▼経営における社会的責任 ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
▼計画の策定と着実な実行 ▼職員と組織の能力向上 ▼情報の保護・共有 ▼カテゴリー1～7に関する活動成果

平成19年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	竹の塚ひまわり園
評価機関名称	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会
事業評価実施期間	2007年11月7日～2008年2月7日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
【講評】詳細はこちら	
- 法人全体及び当施設が目指している理念や方針は年度事業計画書等主要な書類に記載され... 19年度ははじめに施設長の交代があり、新施設長は、自らの施設経営について、3年後の... - この度の職員事業評価結果では、評価項目の事業所が目指していること・経営層のリーダ...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

このページの一番上へ

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3. 地域の関係機関との連携を図っている	A
【講評】詳細はこちら	
- 法令順守については職員会議で年度初めに基本姿勢の読み合わせを行い、法令順守の理解... - 当事業所の専門性を生かして小・中・高・大学の職場体験学習を受け入れており、障害者... - 福祉施設を取り巻く一般労働環境は、常勤の非常勤化が進み、さらにボランティア化であ...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

このページの一番上へ

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】詳細はこちら	
- 苦情処理を含め利用者一人ひとりの意向を取りまとめるため苦情解決制度を活用したり、... 21年度に新体系に本格移行のため、地元企業での仕事の拡大のため、求人企業状況、作...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

このページの一番上へ

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	B
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 中期計画(3年後のゴール)には数値目標を掲げてあり内容は明解です。しかし、中期計... ● 利用者の安全の確保のためリスク委員会を開催しています。必要に応じて職員会議でもり...	

評点の内容
 ▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	B
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	B
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	B
【講評】 詳細はこちら ● 人事考課制度を導入して2年目です。職員に目標意識を持たせる仕事に取り組むよう、目... ● 人事考課制度導入のもとで、職員育成に取り組んでいます。各自研修計画を立てて知識や...	

評点の内容
 ▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報 は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	A
【講評】 詳細はこちら ● 情報の保護については職員人事は施設長がPCで管理し、アクセス権限をはっきりさせて...	

評点の内容
 ▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら ● 職員会議が当日の議題の要点を要約して報告し、時間短縮になり、職員からも理解しやす...	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	B
【改善の成果】 詳細はこちら ● 各自目標達成記述書を作成し、研修計画もたてて知識や技能の向上を目指しています。し...	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら ● 個々の利用者に応じた環境設定や補助具等に関する関心が高まっており、補助具講習会を...	
4. 事業所の財政等において向上している	評点
1. 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら ● 自立支援法施行により当該事業所では利用料収入が減少したので、コスト削減の必要性に...	

5. 前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら 苦情受け付けをシステム化して、確実に対応できる体制が整いました。	

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成18年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > サービス分析結果

サービス分析結果



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼サービス提供のプロセス項目

▼サービスの実施項目

平成19年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	竹の塚ひまわり園
評価機関名称	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会
事業評価実施期間	2007年11月7日～2008年2月7日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
【講評】 詳細はこちら - 当施設のパンフレットは、施設長自らが作成した、A4の大きさと5ページにわたり、施... - ホームページは、法人の紹介に始まり、当施設は「3年後のゴール」として、工房再編成... - 利用者の問い合わせや見学の要望には、施設長が主に対応しています。関係機関には、区...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用開始時には、利用者や家族の意向を把握し、面接の記録に記載して個別にアセスメン... - 利用開始直後には、保護者との連絡を密にとり、利用者の不安を軽減するようにしていま... - 昨年に退所した利用者は、8人います。同じ法人内の施設間異動が4人で同じ区内の為、...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
個別状況に応じた計画策定・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
【講評】 詳細はこちら - 個別計画は前年度中に検討をし、支援計画や議事録に記載しています。計画を緊急に変更... - 個別計画は、作成時、中間締め、最終評価へと見直しの時期を定めています。利用者に変... - 支援計画は、利用者によって例えば体力維持に重点を置いたり、口腔ケアの必要性を課題...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者に関する情報を外部とやり取りをする場合は承諾書を交わし、利用者と必要に応じ... - 当施設では利用者が虐待に合ったケースは、今までにありません。もし生じた時は、福祉... - 利用者の価値観に対しては、例えば正月の初詣でに参加しない利用者に対しては、信教の...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	B
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
【講評】 詳細はこちら - 業務の標準化は、手引き書に明記して、職員全員に配布し共通理解が得られるようになさ... - 利用者が落ち着いて作業が出来るように、障害特性に応じて機の配置を壁にそうようにし... - 利用者の安全性に対しては重要視し、防災委員を中心に点検を実施しています。また、衛...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - 個別支援計画を作成する前に、利用者に第一希望から第三希望まで聞いて、できるだけ利... - 五つの工房の中で、就労支援を目標としている「匠工房・雅工房・和工房」ではタイムカ... - 保護者アンケートの結果から、利用者によっては会話が成り立たなく一方的になってしま...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら 5つの工房に分かれていて、3つの工房は就労支援を位置づけて作業を行っています。「... 「和工房」では、アルミ缶・古紙を回収し、処理作業を行っています。回収にあたり地域... 「華工房」では、園芸作業と受注作業を利用者10名と職員3名で行っています。梱包の...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら - 食事は、業者に委託して提供していますが、栄養士と連携を取り献立に工夫をしています... - 食堂は、透明ガラスを多く使い明るく清潔感があり、カーテンを開けて季節を感じられる... - 各工房の仕事が一段落した時に昼食になるため時間のずれが生じ、グリーンホールと呼ば...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 当施設では、作業服に着替えるため、時間内に自分で出来るように支援し、ほとんどの利... - 一日の流れが午前・午後と作業中心ですが、給食配膳やお茶の手伝いは利用者が当番制で...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら - 年に一回、健康診断を行い、その結果を診察記録に記載しています。通院等の必要が生じ... - 服薬管理は職員が内服薬を確認し、空の薬袋を回収して飲み忘れのないように配慮してい... - 連携病院は近くに二カ所あり、緊急の場合に対応できる体制を整えています。看護師が非...	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	B
【講評】 詳細はこちら - 年間行事は、餅つき大会・新年会に始まり4月にはお花見、5月は一泊旅行、同じ法人施... - クラブ活動は、文化クラブは書華道・調理・陶芸・カラオケ・パソコン・リトミックがあ... - 朝の会と帰りの会で利用者の意見を聞く機会を設けています。しかし、その意見を施設運...	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら - 家族と施設間の連絡等は、主に連絡帳を活用しています。また、機関誌を配布して施設の... - 保護者会がありますが、参加率が低下傾向です。共働きの親でも出席出来る曜日などの工...	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A
【講評】 詳細はこちら - クラブ活動にカラオケボックスやボーリング場、区営の体育施設でプールと体育館を使用... - 就労に関係した施設見学、特にパン工房やリサイクル工房など、利用者が興味を持つ場を...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 利用者調査結果

利用者調査結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成19年度

知的障害者通所授産施設【経過措置】

[<<前の評価結果を見る](#)

[次の評価結果を見る>>](#)

事業所名称	竹の塚ひまわり園
評価機関名称	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会
利用者調査実施期間	2007年11月7日～2007年12月25日

調査概要

- **調査対象**: 総数80名、男性54人・女性26人。平均年齢30歳。平均通所期間4年9カ月。前年度退所数8人、主に法人内施設異動。愛の手帳2度29人、3度38人、4度13人、身障手帳3人。車椅子使用者なし。日中活動は全員参加。
- **調査方法**: アンケート方式
利用者全員にアンケート用紙配布。通常通り25日間の回答期間において、返信用封筒で評価機関に郵送にて回収。
- 利用者総数: 80人
- 共通評価項目による調査対象者数: 80人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 39人
- 利用者総数に対する回答者割合(%) : 48.8%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

仕事など日常の活動は、楽しいです。やりがいがあり、職員の方々とも楽しい。という肯定的な声がある一方で、好きな仕事をさせて貰えない。という不満の声もあります。工賃・給料等に関し、質問項目2は、支払いの仕組みの透明性を尋ねていますが、そのことよりも、工賃が安すぎる、もっと上げて欲しい、1日平均して200円にもならない、せめて昼食代を払えるぐらい欲しい。と利用者等の不満の声がっぱいです。問い7や8での職員の対応は丁寧ですか、と個別計画に対する質問には、約7割の利用者が「はい。」と応えています。その一方で、問い11や12での、職員の対応に関し、職員があまりにも忙しいため、聞いてくれない、対応してくれないという不満が出ています。保護者アンケートでは、「施設は、安全に活動できるように整備されていますか。」に対して、8割以上の方々が「はい。」と応えて、6項目の中では一番、満足度が高い結果でした。自由意見では、工房の職員の方々は、挨拶などきちんとして気持ちがいいです。という回答がありますが、職員の異動が多く残念に思います、という声が複数からありました。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

1. 仕事など日常の活動はやりがいがあるか

はい	22人	どちらともいえない	15人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・楽しいです。・やりがいがあります。・仕事の内容で、好きな仕事をさせて貰えない。・仕事にやりがいがあり、職員の方々とも楽しい。

2. 工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されているか

はい	17人	どちらともいえない	14人	いいえ	8人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
工賃が安すぎる、もっとあげてほしい(多数)。工賃単価を政府が保護して欲しい。せめて昼食代を払えるぐらいの日給が欲しい。

3. 必要なとき職員からの相談・支援は十分か

はい	22人	どちらともいえない	14人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・良く話を聞いてくれる。・就労途中で休みグセが出た時に、職員の方が親身になって下さり就労に戻れ、感謝しています。

4. 施設の設備は安心して使えるか

はい	27人	どちらともいえない	9人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
・質問の意味がよく分かりません。

5. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか

はい	25人	どちらともいえない	12人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
秘密（利用者と職員間）はあまり無いと思います。・利用者が使用している部屋で、個人情報を職員が話しているので困る。

6. 利用者の気持ちは尊重されているか

はい	20人	どちらともいえない	15人	いいえ	4人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・最近、話を聞いてくれるようになりました。

7. 職員の対応は丁寧か

はい	27人	どちらともいえない	8人	いいえ	4人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
・さん、をつけて呼んで貰っている。・今の職員はいい方です。以前は、冷たい人だった。・たまに「おまえ」や「おめー」と言われる。

8. 個別の目標や計画を作成する際に、利用者の状況や要望をきかれているか

はい	29人	どちらともいえない	6人	いいえ	4人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
・話を聞いただけで終わってしまう。

9. 【個別の目標や計画について説明を受けた方に】
個別の目標や計画についての説明はわかりやすかったか

はい	25人	どちらともいえない	10人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・分かりやすかった。

10. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】
サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか

はい	12人	どちらともいえない	7人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】
・あまりよくない。

11. 不満や要望を事業所や職員に言いやすいか

はい	12人	どちらともいえない	19人	いいえ	8人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・話しても忙しいと言われてしまうので、その日のうちに話せない。

12. 利用者の不満や要望はきちんと対応されているか

はい	19人	どちらともいえない	15人	いいえ	5人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・口では後で聞くと言われ、忘れて聞いて貰えない。・職員によっては聞いて下さる。

13. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか

はい	20人	どちらともいえない	10人	いいえ	9人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	-----	-----	----	---------	----

【コメント】
・よく分からない。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

[平成20年度評価結果](#)

[平成18年度評価結果](#)

[平成17年度評価結果](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > リーダーシップと意思決定



リーダーシップと意思決定



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

法人全体及び当施設が目指している理念や方針は年度事業計画書等主要な書類に記載されているほか、より広く周知をはかるため、施設のホール、各フロアー、各活動室、職員室など、職員や利用者の目につきやすい場所に張り出してあります。特に当施設が目指す「3年後のゴール」と銘打った中期目標が18年度に発表され、その内容は数値目標もあり判りやすく明解で、ホームページや「利用者の手引き」でも紹介され理解は広がっています。

19年度ははじめに施設長の交代があり、新施設長は、自らの施設経営について、3年後のゴールを目指した当面の課題や、新事業の立ち上げを成功させるための方策について、職員会議の場で度々説明し、自らの考えを表明し理解を求め、事業所をリードしています。

この度の職員事業評価結果では、評価項目の事業所が目指していること・経営層のリーダーシップ・重要な案件の周知に関して、職員の多くから「十分ではない」の回答がありました。ただしこのことは、新施設長に代わってちょうど半年後の事業評価であり、この間はトップ交代による新たな施設経営体制の構築が進められた時期であり、新経営層の考えや方向性が、職員や利用者・家族には必ずしもよく理解、浸透しなかったことによる結果かと思われます。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	A
標準項目	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	☐ 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A
標準項目	☐ 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	☐ 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A
標準項目	☐ 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	☐ 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	☐ 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 経営における社会的責任

経営における社会的責任

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

法令順守については職員会議で年度初めに基本姿勢の読み合わせを行い、法令順守の理解が深まるよう取り組んでいます。第三者評価を17年度から毎年受審しており、事業所情報を機関誌やホームページで情報公開しています。機関誌は町内会長にも配布しています。

当事業所の専門性を生かして小・中・高・大学の職場体験学習を受け入れており、障害者に対する接し方をはじめとして作業や活動を通して相互理解が深まるよう、福祉教育の実践をしています。障害者や施設に対する理解を深めるためにも、地域との交流・連携は今後の大きな課題としており、保護者会や近隣町会に加え、後援会のより一層の拡大などで、地域活動に対する支援体制を強化していきたいとしています。平日開催の保護者会は土日開催で出席率の回復が望ましいと思われます。

福祉施設を取り巻く一般労働環境は、常勤の非常勤化が進み、さらにボランティア化であり、地域での多様な人材確保の為に、ボランティアの開発と積極的な受け入れが今後ますます望まれます。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している
	 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A
標準項目	 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
	 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A
標準項目	 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)
	 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	A
標準項目	 ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
	 ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	 ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み	

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A
標準項目	 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成18年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用



利用者意向や地域・事業環境の把握と活用



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

苦情処理を含め利用者一人ひとりの意向を取りまとめるため苦情解決制度を活用したり、家族アンケートや利用者調査で利用者等の事業所に対する意見や要望を把握し、分析しています。その結果を保護者会に対して積極的に提案もしてきました。ただ、保護者会の出席率が次第に低下しているのが懸念されます。

21年度に新体系に本格移行のため、地元企業での仕事の拡大のため、求人企業状況、作業種目の拡大、パンの販路拡大等に役立つ、福祉就労情報を求めています。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A	
標準項目		苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
		利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み		

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A	
標準項目		利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
		事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
		利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み		

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A	
標準項目		地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
		福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
		事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 計画の策定と着実な実行



計画の策定と着実な実行



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

中期計画(3年後のゴール)には数値目標を掲げてあり内容は明解です。しかし、中期計画に従って年度計画・短期計画で、実現に向けての事業課題と改善計画が不明確です。各部署・各職員に具体的な行動目標を示し、目標管理により、職員のやる気と行動を促すことが望ましいと思われます。

利用者の安全の確保のためリスク委員会を開催しています。必要に応じて職員会議でもリスクマネジメントの事例分析手法を取り入れハード・ソフト・環境・人的等要因毎に検討して、再発防止および予防対策を行っています。事故や感染症等各種リスクに関して、階層別に研修する体制ができており、その取り組み姿勢は高く評価されます。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	A
標準項目	☐ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	☐ 年度単位の計画を策定している
	☐ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	☐ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	☐ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	☐ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
	☐ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	B
標準項目	☐ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	☒ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
	☐ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	☒ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
	☐ 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	☐ 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価結果の見える化
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 職員と組織の能力向上



職員と組織の能力向上



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

人事考課制度を導入して2年目です。職員に目標意識を持たせる仕事に取り組むよう、目標達成記述書を作成していますが、この制度に対する意識はまだ低いのが実情です。

人事考課制度導入のもとで、職員育成に取り組んでいます。各自研修計画を立てて知識や技能の向上を目指しています。また、利用者本位の支援にあたって、主体的に勉強し、判断力や行動力を発揮したいとしています。しかし、十分な要員配置が出来ていないため、個人別の育成(研修)計画を踏まえた、OJTや研修ができないとの職員の声が多数あります。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	A
標準項目	○ 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	○ 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
	○ 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	B
標準項目	○ 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	○ 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
	✕ 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている
	○ 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
	○ 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	B
標準項目	✕ 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
	○ 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
	○ 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	B
標準項目	○ 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賞金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	○ 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	✕ 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	○ 福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 情報の保護・共有

情報の保護・共有

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

情報の保護については職員人事は施設長がPCで管理し、アクセス権限をはっきりさせています。その他利用者情報、各種会議録等は紙ベースでファイリングして書棚に施錠管理しています。現在は職員全員にPCはなく一部の活用に留まっていますが、今後は全員にPCを持たせて情報の管理、事務作業の効率化を図っていくことを課題に挙げています。IT化については法人予算の制約もあり全員への配置は難しいと思われませんが、アクセス権限をしっかりと管理すれば、情報の管理、作業の効率化の点で効果が期待できます。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している
	○ 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
	○ 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み	

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点	A
標準項目	○ 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	○ 個人情報の保護に関する規定を明示している
	○ 開示請求に対する対応方法を明示している
	○ 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > カテゴリー1～7に関する活動成果

カテゴリー1～7に関する活動成果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A
改善の成果	職員会議が当日の議題の要点を要約して報告し、時間短縮になり、職員からも理解しやすくなったと好評です。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	B
改善の成果	各自目標達成記述書を作成し、研修計画もたてて知識や技能の向上を目指しています。しかし、人員不足等過重な労働環境下にあつて、利用者本位の支援の為に主体的に判断・行動し学びも取りくみたいとしても、できないという職員の声が多数があります。経営層もこれから自立を目指した支援の出来る人材育成が必要ではあるが、個別の研修計画などでの人材育成計画は不十分と認識しており、この1年を振り返っても改善傾向は確認できないとしています。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	A
改善の成果	個々の利用者に応じた環境設定や補助具等に関する関心が高まっており、補助具講習会を開催しました。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

評点	A
改善の成果	自立支援法施行により当該事業所では利用料収入が減少したので、コスト削減の必要性に迫られました。人件費削減や利用者行事の経費を削減し、収支バランスを図っています。

[このページの一番上へ](#)

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

- ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

評点	A
改善の成果	苦情受け付けをシステム化して、確実に対応できる体制が整いました。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービス情報の提供

サービス情報の提供

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

当施設のパンフレットは、施設長自らが作成した、A4の大きさに5ページにわたり、施設の写真や利用者が活動を行っている写真も掲載され、分かりやすく紹介しています。通所授産の目的から、当施設の中心となる5つの工房の活動内容まで、詳細に記載され十分な情報提供がなされています。

ホームページは、法人の紹介に始まり、当施設は「3年後のゴール」として、工房再編成により、就労支援・作業支援・生活支援、それぞれの分野において利用者に最適でハイレベルな支援を行う事を明記しています。

利用者の問い合わせや見学の要望には、施設長が主に対応しています。関係機関には、区役所、福祉事務所などに機関誌を配布して閲覧出来るようにし、近隣の町会にも機関誌を配布し地域に施設の情報を提供しています。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	利用者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始・終了時の対応

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

利用開始時には、利用者や家族の意向を把握し、面接の記録に記載して個別にアセスメントを行い、プロフィール表も作成しています。前所属施設や、養護学校からの引き継ぎを行い、利用前の生活をふまえた支援を行っています。

利用開始直後には、保護者との連絡を密にとり、利用者の不安を軽減するようにしています。利用者には実際に工房の実習に参加する事により、利用者ニーズの把握に努めています。利用者によっては、作業の様子で変化が見られたり、食事が減った場合は、工房会議を開き、場合によっては工房を変更する配慮をしています。

昨年に退所した利用者は、8人います。同じ法人内の施設間異動が4人で同じ区内の為、退所後のフォローがしやすい状況にあります。就労A型への移行が2人で、今後の就労継続支援を進めていく上で先輩としての役割になると思われます。更に、一般就労が1人で休日に施設に来て職員と話をするなど、自然な流れの中で退所後の関係が築かれています。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成18年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 個別状況に応じた計画策定・記録



個別状況に応じた計画策定・記録



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

個別計画は前年度中に検討をし、支援計画や議事録に記録しています。計画を緊急に変更する必要が生じた場合は、主任会議や工房代表者会議を開き検討がなされています。職員調査からは、「利用者特性を活かそうとしていて、サービス、要望に応じている。」という肯定的な声と、「利用者の状況を職員一人ひとりが把握できていない。」という声もあります。利用者の人数が多い施設ですが、各工房における利用者の把握は出来ると思われます。

個別計画は、作成時、中間纏め、最終評価へと見直しの時期を定めています。利用者に変化があった場合は、会議や朝礼で職員間で情報を共有化し、周知する体制が整っています。

支援計画は、利用者によって例えば体力維持に重点を置いたり、口腔ケアの必要性を課題にしたり様々です。同じ利用者でも、半年後の見直しには精神的ケアを課題とし、臨機応変な対応がなされています。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A	
標準項目		利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
		利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
		アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A	
標準項目		計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
		計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
		計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている
		計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A	
標準項目		利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
		計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A	
標準項目		計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している
		申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

 利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講 評

利用者に関する情報を外部とやり取りをする場合は承諾書を交わし、利用者と必要に応じて家族とも同意を得ています。また当施設では、作業によっては着替えをするため、男女別々の更衣室にドアだけでは開けた時に中が見える場合もあり、ドアの外にカーテンをつけ利用者の羞恥心に配慮をしています。

当施設では利用者が虐待に合ったケースは、今までにありません。もし生じた時は、福祉事務所に連絡をして連携を取りながら対応する体制を整えています。更に、虐待を含む基本姿勢の読み合わせを年度初めに行い、職員全体に周知がゆきとどくように行っています。

利用者の価値観に対しては、例えば正月の初詣でに参加しない利用者に対しては、信教の自由を尊重し無理強いはいしない配慮をしています。今回の評価では、家族アンケートを実施しました。その結果「職員は、重度の利用者に多く接する事が、軽度の利用者にとっては公平でない、差別されている。」と受け取っているという声があり、今後の課題です。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A
標準項目	 利用者に関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている
	 日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
	 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A
標準項目	 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
	 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	 虐待被害にあった利用者がある場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

他年度の評価結果

平成20年度評価結果

平成18年度評価結果

平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 事業所業務の標準化



事業所業務の標準化



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

業務の標準化は、手引き書に明記して、職員全員に配布し共通理解が得られるようになされています。職員間では、一般職員が分からない事があるれば同じ工房のリーダーに聞き、助言や指導を受けています。毎年、第三者評価を受審し、評価結果報告書から改善点の向上に努めています。

利用者が落ち着いて作業が出来るように、障害特性に応じて機の配置を壁にそうようにしたり、パーテーション(仕切り)を入れて、利用者同士が目線を合わないよう工夫をしています。今回の職員調査では、18人の回答者の中で「事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしているか」の問いに対して「いいえ」と応えた方が11人という多い結果でした。更なる取り組みが必要と思われます。

利用者の安全性に対しては重要視し、防災委員を中心に点検を実施しています。また、衛生管理に配慮し、感染症や食中毒に対する利用者への伝達と、職員は保健衛生研修などを受け、未然に防ぐ取り組みをしています。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	A
標準項目	○ 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
	○ 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
	○ 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
	○ 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	B
標準項目	○ 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
	○ 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	× 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	○ 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
	○ 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
	○ 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
	○ 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
	○ 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方
他年度の評価結果
平成20年度評価結果
平成18年度評価結果
平成17年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの実施



サービスの実施



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講 評

個別支援計画を作成する前に、利用者に第一希望から第三希望まで聞いて、できるだけ利用者ニーズに応じています。その後、障害の程度や特性、作業における特性や、人間関係に配慮して決定しています。各作業室内には掲示板があり、その日の予定や作業内容を大きい字で分かりやすく書かれています。

五つの工房の中で、就労支援を目標としている「匠工房・雅工房・和工房」ではタイムカードを設定し、時間を守る意識づけをしています。水曜日は、午後の活動は就労勉強会や職場見学を実施し、将来に向けての支援を行っています。又、障害者のグループホームを紹介し、利用者に情報を提供しています。

保護者アンケートの結果から、利用者によっては会話が成り立たなく一方的になってしまう場合や、通所後の帰り道でのトラブルがある事も分かりました。施設内での些細なトラブルは職員が対応し、社会に出てからの対人関係を学ぶ場になっていると思われます。

評点	A
標準項目	 個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	 自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	 必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講 評

5つの工房に分かれていて、3つの工房は就労支援を位置づけて作業を行っています。「匠工房」では、パン・クッキーの生産を行い、出来上がったパンなどを施設内にあるプラタナス(喫茶コーナー)で販売と、地域の方々に軽い昼食も用意しています。利用者12名と職員3名で対応し、制服があり活き活きと作業をしていました。「雅工房」では、利用者27名が、広告の折り込みちらしを半分に折り、100部ずつ纏めたり、割り箸を袋に入れる作業などを行っています。

「和工房」では、アルミ缶・古紙を回収し、処理作業を行っています。回収にあたり地域住民の方々の協力もあり、理解と親睦が深まっています。また、自転車の補修・洗車作業では、生活に身近な自転車だけに、男性の利用者が多く関わっており活気にあふれています。ただ、保護者アンケートでは、工賃をもう少し多くして欲しい、という声が複数からありました。今後の課題かと思われます。

「華工房」では、園芸作業と受注作業を利用者10名と職員3名で行っています。梱包の隙間をクッション剤で埋める作業などを業者からの委託で行っています。「希工房」では、利用者10名と職員3名で対応し、午前中は受注作業を、午後からはウォーキングやスポーツの活動をし、必要な生活支援を個別に合わせて対応しています。

評点	A
標準項目	 授産活動のメニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
	 利用者が活動しやすい環境を整えている
	 利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
	 工賃は利用者との合意に基づいて支給している
	 利用者の働く意欲を盛り立てる取り組みを行っている
	 就労可能な利用者には、就労に向けた相談や具体的な支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講 評

食事は、業者に委託して提供していますが、栄養士と連携を取り献立に工夫をしています。年に一度、嗜好調査を実施して利用者の好みを把握しています。又、毎月給食委員会を開き検討し給食委員会議事録に記録しています。更に毎日、検食簿を記入し、利用者ニーズに応じています。利用者によって、「主食半分」「アレルギー対応食」「減塩が必要のため、みそ汁なし」などが分かるように、食食用トレイにネームプレートを置き、健康を維持する取り組みをしています。

食堂は、透明ガラスを多く使い明るく清潔感があり、カーテンを開けて季節を感じられる様に工夫されています。食事の時に「帰りのバス（路線バス）は、一緒に乗って帰ろうね。」などの会話を交わし、楽しい雰囲気の中で食事の光景が見られました。食堂には、ジャガイモを例にあげ、薄くスライスして揚げる場合と、ゆでる場合ではカロリーが違う事を、イラスト入りで興味をひくように掲示して、利用者に脂肪の取りすぎを防ぐ方法を伝えています。

各工房の仕事が一段落した時に昼食になるため時間のずれが生じ、グリーンホールと呼ばれている食堂で、ゆったり食事ができます。匠工房以外は、食堂への広い通路に「手洗い場」があります。そこに掲示された「手の洗い方」は、イラスト入りで石鹸水を泡立てて念入りに洗う方法で、利用者は丁寧に手を洗っていました。感染症予防に役立つ取り組みです。

評点	A	
標準項目		利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
		利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
		食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

講 評

当施設では、作業服に着替えるため、時間内に自分で出来るように支援し、ほとんどの利用者が着替えが出来る状況です。個人毎のロッカーが有り、鍵の管理は利用者が行い、将来のためになると考えられます。

一日の流れが午前・午後と作業中心ですが、給食配膳やお茶の手伝いは利用者が当番制で行い、日常生活に役立つように配慮しています。

評点	A	
標準項目		利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
		必要に応じて、身の回りのことは自分で出来るよう働きかけている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

年に一回、健康診断を行い、その結果を診察記録に記載しています。通院等の必要が生じた場合は家族が対応していますが、家庭の事情によっては職員が通院同行を行っています。利用者の日々の健康状態は連絡帳で把握し、施設で変化があった場合は連絡帳に職員が記入をして相互に連絡を取り合っています。

服薬管理は職員が内服薬を確認し、空の薬袋を回収して飲み忘れのないように配慮しています。又、予備薬を一回分は持参して貰い、保健室で管理をしています。自己管理の出来る利用者に対してはなるべく本人に任せ、工房によっては「薬を飲んだ(表)・まだ(裏)」の記入した物を作り、職員がフォローしています。

連携病院は近くに二カ所あり、緊急の場合に対応できる体制を整えています。看護師が非常勤で週に一度の状況で、看護師の配置が望まれます。

評点	A	
標準項目		健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
		必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
		服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
		利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

年間行事は、餅つき大会・新年会に始まり4月にはお花見、5月は一泊旅行、同じ法人施設と合同の園祭・運動会と多様なプログラムが用意され、利用者と家族に喜ばれています。行事の前に利用者からアンケートを取り、利用者ニーズの把握に努めています。

クラブ活動は、文化クラブは書華道・調理・陶芸・カラオケ・パソコン・リトミックがあり、スポーツクラブはトランポリン・卓球・ウォーキング・ボウリング・スイミング・ダンスなど多様な中から選択ができ、利用者は全員が希望するクラブに所属し、楽しんでいます。

朝の会と帰りの会で利用者の意見を聞く機会を設けています。しかし、その意見を施設運営に反映させるため「利用者の会」の活動の活性化が望まれます。

評点	B	
標準項目		行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
		室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
		日常生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にして見直しをしている
		利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようしくみを整えている
		行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講 評

家族と施設間の連絡等は、主に連絡帳を活用しています。また、機関誌を配布して施設の様子を知らせています。

保護者会がありますが、参加率が低下傾向です。共働きの親でも出席出来る曜日などの工夫が望まれます。親の会が母体になり施設が出来た経緯があるので、施設側の上手な呼びかけで参加率を上げるのは可能と思われます。経営層は職員間との共通理解の元で、保護者の意見も全体会議に活かせるようにしたいと前向きに検討しています。

評点	A	
標準項目		家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
		利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
		必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講 評

クラブ活動にカラオケボックスやボーリング場、区営の体育施設でプールと体育館を使用し、利用者に提供しています。また利用者が週に一回、近隣の公園に行き清掃や草むしり、ごみを持ち帰り、地域に還元しています。

就労に関係した施設見学、特にパン工房やリサイクル工房など、利用者が興味を持つ場を選び社会経験に役立つように支援しています。施設内にある喫茶店「プラタナス」は、地域の方々がパンやクッキーを買いに來たり、お茶を飲みに來たりと活用する機会が広がってきています。

評点	A	
標準項目		地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
		必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

